奨励賞

伊藤　駆　（イトウ　カケル）

千葉県立市川工業高等学校　建築科

# 空の見える美術館

～芸術と人とのつながり～

インターネットアンケートの調査で、若年層の美術館離れが懸念されているのを見た。そこで、私は誰もが興味を持ってもらえ、気軽に入れる美術館を計画する。

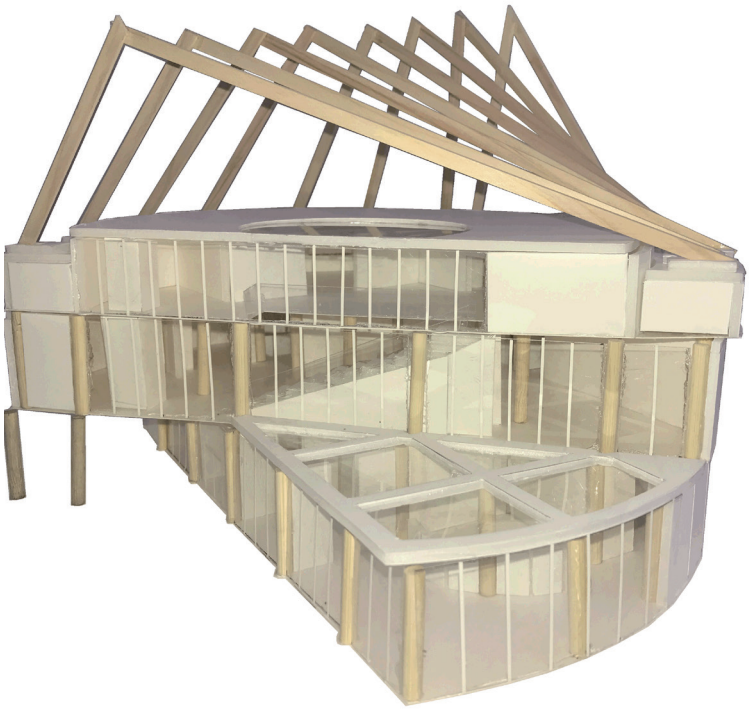
　計画地は、千葉県市川市鬼高である。この地域は、大型商業施設のニッケコルトンプラザ、現代産業科学館、中央図書館や小学校が隣接し若い人が集まる地域になっている。

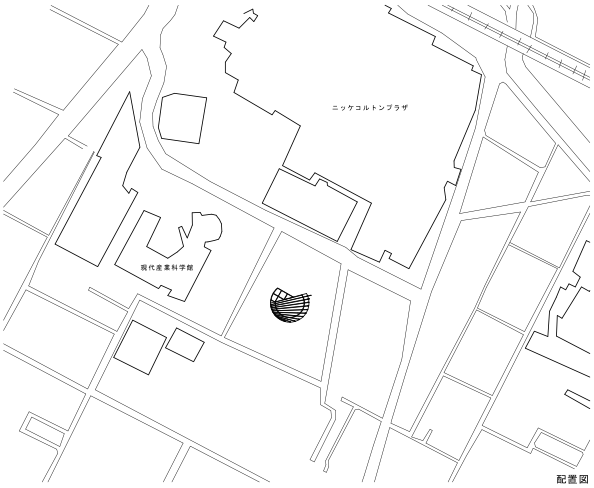
この美術館で、若い人たちに芸術への関心を高めてもらうことを期待する。

私たちの暮らしの回りは、実は芸術で溢れている。しかしその認識が薄いため､芸術を疎遠なものと感じている。そこで作者は、アンケート調査を踏まえ、特に若い人の芸術への関心を高めようと、気軽に入れる美術館を計画しようと考えた。
この考察は、大学生レベルであり、動機づけが素晴らしい。
計画地は、千葉県市川市鬼高、大型商業・図書館・科学館・教育などの施設が結集している賑わいのエリアである。提案された造型は、幾何学を根拠に、半円筒形を 1・2 階でずらし、上部バットレスをランドマークとしている。作者の意図どおり、いつでも、誰でも、どこからでもアクセスできる開かれた美術館が提案されており、見事な空間提案である。
今後の発展形として、美術館の光（自然光や人工照明）のゾーニング、展示室の柔軟性と、保存収蔵庫の設えを配慮すること。さらに美術館は、そこに導く外構ランドスケープが大事であることから、例えば、敷地いっぱいの緑の彫刻公園であるとか、アプローチの広場や道を設定するなど、多様な見方で考え抜いて、建築を楽しみながら設計をしてほしい。

審査員：鳴海　雅人

# 空の見える美術館
## ～芸術と人とのつながり～

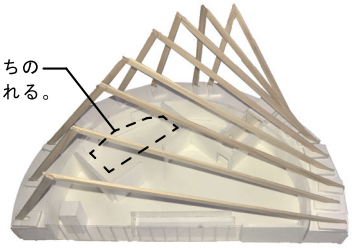


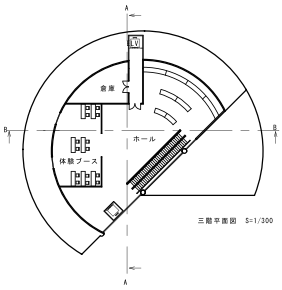



配置図　S＝1/1800

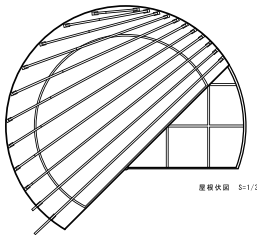
インターネットアンケートの調査で、若年層の美術館離れが懸念されているのを見た。
そこで、私は誰もが興味を持ってもらえ、気軽に入れる美術館を計画する。
計画地は、千葉県市川市鬼高である。この地域は、大型商業施設のニッケコルトンプラザ、現代産業科学館、中央図書館や小学校が隣接し若い人が集まる地域になっている。
この美術館で、若い人たちに芸術への関心を高めてもらうことを期待する

体験ブースでは子供たちの
興味を惹く体験が行われる。



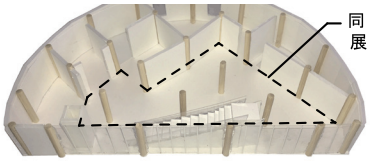


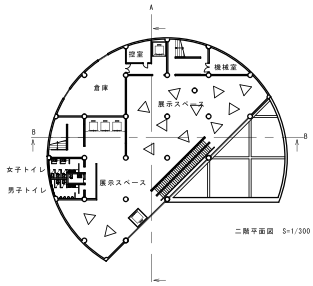

三階平面図　S=1/300



屋根伏図　S=1/300

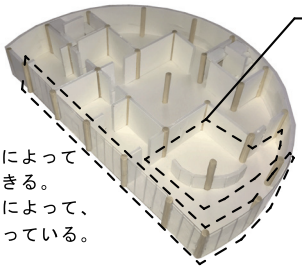
同じものを見て同じような事を感じられるように、
展示室を広いひとつの空間にした。



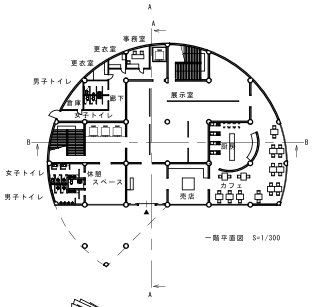



二階平面図　S=1/300

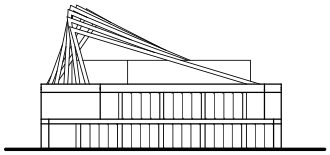
カフェスペースは、外から見えるようになっていて、
人が集まっていることを確認することができる。
天井はガラス張りになっていて、明るい空間になっている。



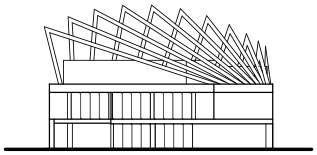
全面ガラス張りにすることによって
中での活動を見ることができる。
そして、オープンな雰囲気によって、
人を拒まないデザインになっている。



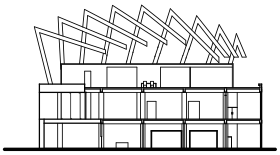

一階平面図　S=1/300



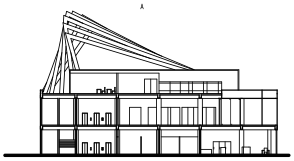
南側立面図　S=1/300



東側立面図　S=1/300



A-A立面図　S=1/300



B-B断面図　S=1/300